万能人

レオナルド・ダ・ヴィンチとは

年　最
A番　龍
年　橋
3　高

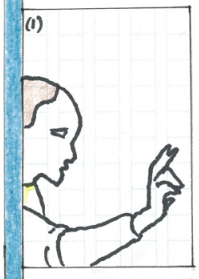
レオナルド・ダ・ヴィンチ（フルネームは、レオナルド・ディ・セル・ピエロ・ダ・ヴィンチ。生年月日は、1452年4月15日、生まれはフィレンツェ共和国（現在のイタリア））ルネサンス期を代表する芸術家、科学者、画家の顔もありながら、建築、彫刻、織物学、解剖学、美術解剖学、植物解剖学、博物学、動物学、天文学、気象学、地質、地理学、工学、流体力学、水力学、飛行機の安定、航空力学、航空工学、自動車工学、材料工学、土木工学、軍事工学、潜水服などの分野に顕著な業績と手稿を残したとされる。このことからレオナルドは「万能の天才」と称された。しかし完全に解明されていない作品もあり、15世紀になっても動と言われる作品を残している。レオナルドの若い時は美青年として知られており、今でいう俳優並みのイケメンだったといわれています。

作品達

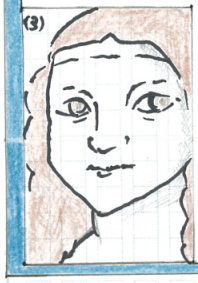
(1)受胎告知（1472～73年頃制作）。ロッキオの工房から独立した頃の作品と推定。

(2)白貂を抱く貴婦人（1489～90年頃制作）。この作品はレオナルドが女性をモデルに描いた1作目の絵で、モデルの女性は1489年にルドヴィーコの愛妾となったチェチリア・ガッレラーニです（当時17歳）。

(3)モナリザ（1503～06年頃作）。レオナルドが最後まで手を加えていた作品で、モデルが実在しない風景を表現しています。


(1)

(2)

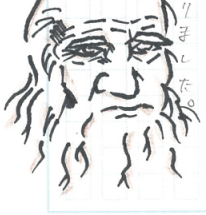

(3)

万能の天才

モナリザ

作者はレオナルド・ダ・ヴィンチで、制作時期は1503年頃、技法は油彩、板に描いていた。サイズは77cm横53cm、所蔵場所は、ルーブル美術館です。

モナリザの女性の正体はフランチェスコ・デル・ジョコンドの妻リザ・ゲラルディーニだと言われています。

モナリザは1回盗まれています。そのため一回は自分で盗まれていました。それほど人気があるんです。

独創で、興味があるものはなんでもチャレンジするタイプでした。ヴェザーリ文章では、「奇怪な形をしたトカゲの背中に、別のトカゲの剥いだ鱗皮を水銀の混ぜたもので付け、それが背中で動くにつれて揺れたりするように細工したりして友人をびびらせていた。レオナルドは動物愛好者で、どんな動物もこよなく愛しましたが、特に馬を愛し、描の印象的なスケッチが残っています。レオナルドはなんと睡眠がとても短く睡眠時間は一日に約30分と言われています。しかし、これはまとまった睡眠時間ではなく、10分程度の短い睡眠を数回に分けて取っていたとされています。レオナルドは67歳で亡くなりましたが死因は一般的に脳卒中と考えられています。晩年には右上肢の麻痺もあったとされ、これは尺骨神経や正中神経の麻痺が原因ではないかと推測されています。そしてレオナルドは、1519年5月2日にフランスのアンボワーズでそなりました。彼の死は、フランソワ一世の腕の中で迎えられたと伝えられています。レオナルドは今では名前は広められていて、ローマ空港の名前はレオナルド・ダ・ヴィンチ空港です。レオナルドの有名な作品「モナ・リザ」や「最後の晩餐」を始めとした名作が今でも世界的に誰もが知っている物になりました。